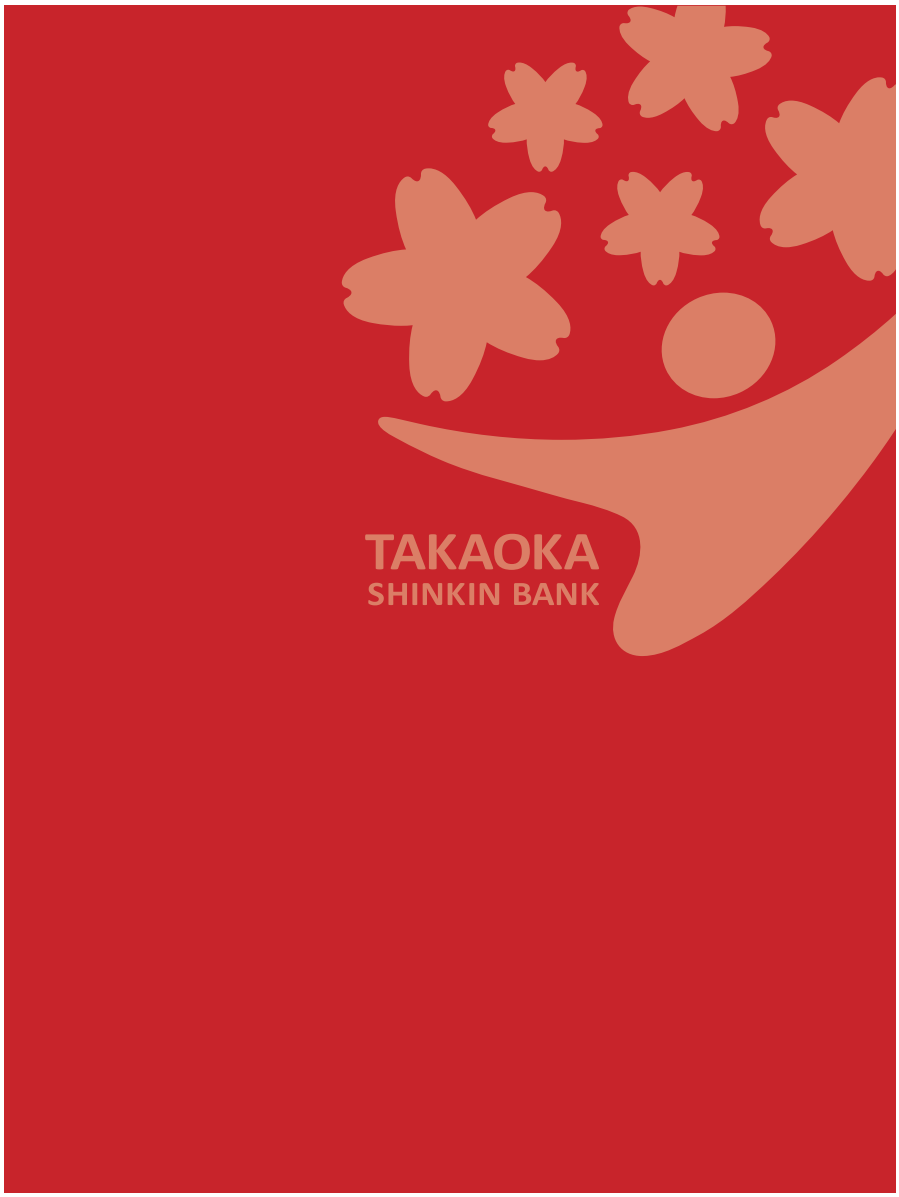
たかしん上半期ディスクロージャー誌

たかしんレポート

2022年4月1日～2022年9月30日



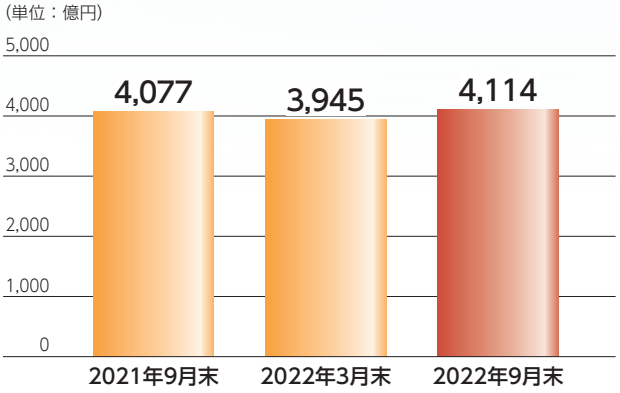
高岡信用金庫

2022年度上半期(2022年4月1日～2022年9月30日)の主な経営情報をお知らせします。

預金積金の状況について

2022年9月末の預金積金残高については、4,114億円と前期末に比べ168億円増加しました。

●預金積金残高の推移



(単位：百万円)

項　目	2021年9月末	2022年3月末	2022年9月末
預金積金	407,733	394,581	411,437

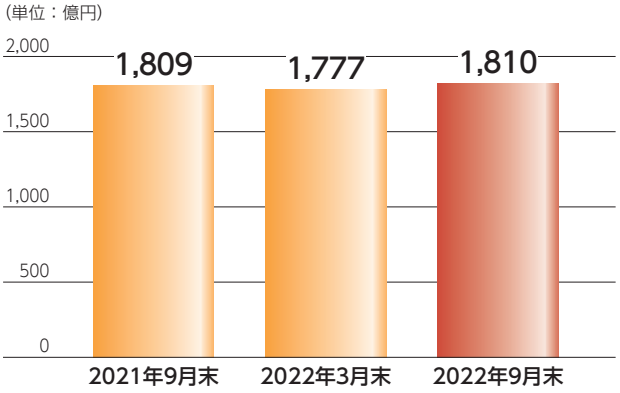
貸出金の状況について

2022年9月末の貸出金残高については、一般事業所向けや金融保険業・地方公共団体向け融資が伸びたことから1,810億円と前期末に比べ33億円増加しました。

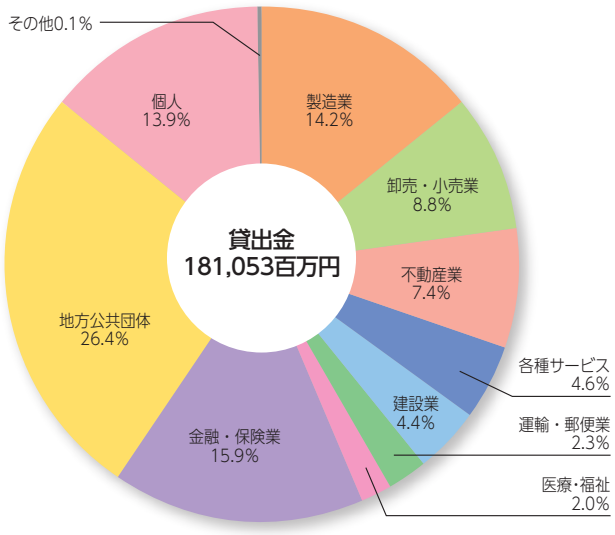
(単位：百万円)

項　目	2021年9月末	2022年3月末	2022年9月末
貸出金	180,976	177,706	181,053

●貸出金残高の推移



●貸出金業種別構成比(2022年9月末)



収益の状況について

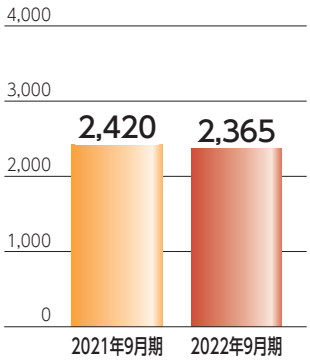
有価証券利息配当金の減少等により、経常収益は前年同期比54百万円減少し、本業のもうけを示すコア業務純益は96百万円減益の310百万円となりました。一方、与信関係費用の減少を主因に当期純利益は145百万円増加し、474百万円となりました。

(単位：百万円)

項　目	2021年9月期	2022年9月期
経常収益	2,420	2,365
コア業務純益	406	310
経常利益	411	562
当期純利益	328	474

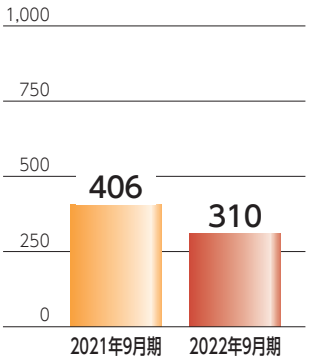
●経常収益の推移

(単位：百万円)



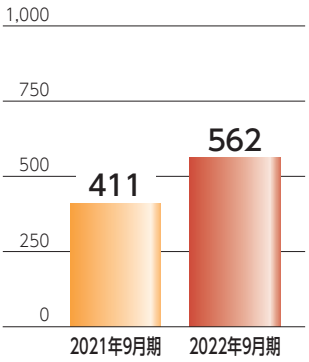
●コア業務純益の推移

(単位：百万円)



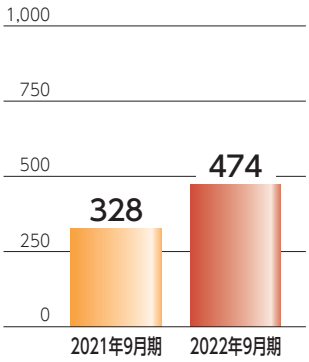
●経常利益の推移

(単位：百万円)



●当期純利益の推移

(単位：百万円)



有価証券の評価損益について

地域の皆さまからお預かりした預金積金は、貸出金や金融機関預け金のほか有価証券で運用しております。評価損益は、国内外の金利上昇により前期末比6,191百万円減少し、7,649百万円の評価損となりました。

(単位：百万円)

	2022年3月末				2022年9月末			
	残高	評価益	評価損	評価損益	残高	評価益	評価損	評価損益
満期保有目的	2,850	26	0	26	2,550	16	0	16
子会社・関係会社株式	—	—	—	—	—	—	—	—
その他有価証券	153,655	3,491	4,974	▲1,483	154,146	3,282	10,948	▲7,665
株　式	323	17	28	▲11	311	7	31	▲24
債　券	87,671	284	886	▲602	92,027	140	2,040	▲1,899
その他	65,659	3,189	4,060	▲870	61,807	3,134	8,876	▲5,741
合　計	156,505	3,517	4,975	▲1,457	156,696	3,299	10,948	▲7,649

(注)●残高は、各末日における市場価格等の時価に基づいております。
●「評価益」「評価損」は、それぞれ「評価損益」の内訳です。

不良債権の状況について

2022年9月末時点で厳格に資産査定した結果、貸出金や債務保証見返などに対する金融再生法ベースの不良債権額は10,308百万円となりました。

●金融再生法開示債権及び同債権に対する引当・保全状況

(単位：百万円)

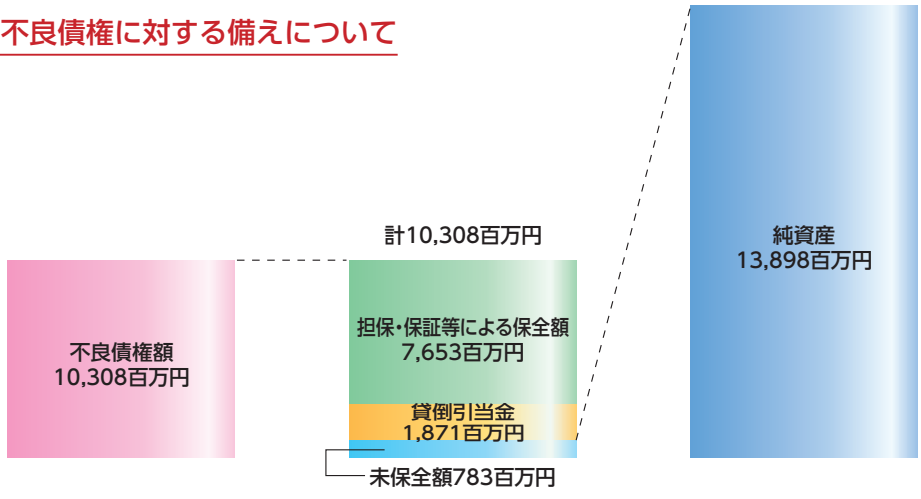
区　分	2022年3月末	2022年9月末					
	開示残高	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による回収見込額(c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b/a)	引当金 (d/(a-c))
金融再生法上の不良債権(A)	10,265	10,308	9,524	7,653	1,871	92.39%	70.48%
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,052	1,966	1,966	1,585	381	100.00%	100.00%
危険債権	7,826	7,969	7,424	5,974	1,449	93.16%	72.69%
要管理債権	385	372	133	93	40	35.77%	14.35%
正常債権	168,496	171,789					
合　計(B)	178,761	182,098					
不良債権比率 (A/B×100)	5.74%	5.66%					

(注) 1.「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2.「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3.「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する貸出金をいいます。
4.「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

不良債権に対する備えについて

金融再生法ベースの不良債権額は10,308百万円ですが、担保・保証等及び貸倒引当金計9,524百万円により保全され、保全率は92.39%と高水準となっております。未保全額は783百万円となりますが、これに対して純資産の総額は、13,898百万円あり、不良債権に対する備えは万全です。

●金融再生法に基づく不良債権に対する備えについて



自己資本比率について

自己資本比率は2022年3月末比0.26ポイント低下し、12.03%となりました。なお、この比率は、国内基準に適用される4%を大きく上回っております。

●自己資本比率の状況

(単位：%)

決算期	自己資本比率
2022年3月末	12.29
2022年9月末	12.03

●自己資本比率の内訳

(単位：百万円)

項　目	2022年3月末	2022年9月末
コア資本に係る基礎項目の額(A)	21,663	21,966
コア資本に係る調整項目の額(B)	70	60
自己資本の額(C)＝(A)-(B)	21,592	21,905
リスク・アセット等の額の合計額(D)	175,634	182,036
自己資本比率(C)/(D)	12.29%	12.03%

コア資本に係る基礎項目とは自己資本の中の出資金、利益剰余金等をいいます。
リスク・アセットとは、リスクに応じた掛目を乗じた後の資産をいいます。

トピックス　2022年

特殊詐欺被害防止の広報啓発活動を実施

2022年6月15日（水）当金庫砺波支店で年金支給日にあわせて、特殊詐欺被害防止の広報啓発活動を実施しました。
砺波警察署と出町防犯組合が協力して、来店客に特殊詐欺被害防止チラシを配布しました。



高岡市荻布奨学金事業に賛助金を贈呈しました

2022年6月15日（水）の「信用金庫の日」にちなみ、当金庫は高岡市在住で賛助が必要な高校・高専学生を対象に支援している荻布奨学金事業に賛助金を贈呈しました。



（左より高岡市 近藤教育長、当金庫 永岩理事長）

善光寺〝御開帳〟信州牛すき焼きと小布施！

福信会の皆さま（於：善光寺）



2022年6月11日

日本最高峰の料亭「招福楼」と京都高尾「舞妓と蛍の夕べ」

南信会の皆さま（於：招福楼）



2022年7月1日～2日

店舗一覧及びATM設置状況

●当金庫のATMは、年中無休で稼動しております。(一部店舗を除く)
●「しんきんゼロネットサービス」により、全国約2万台の信用金庫のATMで利用手数料を支払うことなく、キャッシュカードによる現金の預入れ、引出しができます(平日8：45～18：00の入出金、土曜日9：00～14：00の出金)。但し、本サービスの対象とならない信用金庫が一部ございます。
●「しんきん北陸トライネットATMサービス」により、北陸3県内に本店を置く15信用金庫が設置・管理しているATMで利用手数料を支払うことなく、キャッシュカードによる現金の預入れ、引出しができます。





…平日・土曜日・日曜日・祝日を通してATMがご利用いただけます。
…平日のみATMがご利用いただけます。

(2022年11月末現在)

高岡信用金庫
〒933-8611 高岡市守山町68番地　TEL.0766-23-1222
https://www.shinkin.co.jp/takaoka/